

## 第2章 環境保全施策の推進

「環境基本計画」に掲げた3つの基本目標の達成に向けて、平成24年度に実施した主な施策の内容について報告します。

### 基本目標1 良好な生活環境を守りはぐくむ

#### 1-1 きれいな空気と水辺のあるまちで暮らす（本編P.10～20）

##### 【平成24年度の成果】

- 目黒区では、東山中学校に大気汚染測定室を設け、二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素等の常時監視を行っています。測定項目中、光化学オキシダントのみが前年に引き続き環境基準を達成しませんでした。
- 主要幹線道路沿線の窒素酸化物調査では、測定期間中（20日間）の二酸化窒素、浮遊粒子状物質、PM2.5の測定結果は環境基準値以下の値でした。
- 水環境については、目黒川の3地点で年4回、水質を測定した結果、すべての項目で環境基準値を満たしていました。しかし、季節や場所によって、悪臭がするなどの課題が残されています。
- 自動車交通騒音（面的調査）では、特に夜間の環境基準達成率が低い状況でした。

##### <指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目 [ 環境指標 ]	基準年度	基準年度末時点実績値	平成24年度末実績値	平成33年度数値目標	評価
大気環境					
大気汚染常時監視 (二酸化硫黄/一酸化炭素/浮遊粒子状物質/二酸化窒素/光化学オキシダント)	22	4項目達成 (光化学オキシダント非達成)	4項目達成 (光化学オキシダント非達成)	環境基準の達成	😊
沿道の窒素酸化物濃度	22	全地点達成	全地点達成	全地点達成*1	😊
水環境（目黒川での水質測定）					
生活環境項目 (水素イオン濃度/溶存酸素/生物化学的酸素要求量/浮遊物質)	22	1地点で1回 BODが環境基準値を超過	全月達成	全月達成*2	😊
衛生環境項目 (カドミウム/全シアン/鉛/六価クロム)	22	全月達成	全月達成	全月達成*2	😊
騒音（沿道の交通騒音測定—面的評価調査—）					
対象道路 (玉川/目黒/山手/駒沢/環七/淡島)	昼間	—	—	6地点中3地点で達成	😊
	夜間	—	—	全6地点で未達成	😞

\*1 測定期間中（20日間）の平均値が、全地点（12地点）で環境基準値を満たしていること。

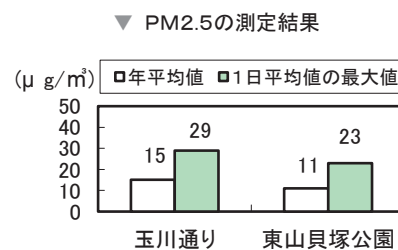
\*2 全地点（3地点）、全月（年4回）で環境基準値を満たしていること。

##### 指標について

環境基本計画の進行管理を行うため、基本方針ごとに指標を設けています。数値目標を設定している環境指標は3段階（😊・😊・😞）、目指す方向を設定している取組指標は2段階（😊・😞）で評価しています。また、基本方針によっては、環境指標、取組指標のいずれかしかない場合があります。

### 1-1-1 大気環境の保全

東山中学校屋上に大気汚染測定室を設け、毎年、環境測定を実施しています。観測の結果、二酸化硫黄、一酸化炭素（CO）、浮遊粒子状物質、二酸化窒素は、基準を達成しましたが、光化学オキシダントは、基準を達成しませんでした。なお、平成24年度から沿道の窒素酸化物濃度の調査に合わせて、PM2.5<sup>3</sup>の測定を開始しました。



### 1-1-2 水環境の保全

目黒川クリーンアップ大作戦は、「目黒川を豊かな生活環境にする会」が主催し、区が共催している清掃活動です。町会・自治会などの区民団体、事業者のほか、目黒区役所、目黒警察署、目黒消防署も含め、毎回200人を超すボランティアが参加しました。

▼ 目黒川クリーンアップ大作戦



### 1-1-3 有害物質による汚染の防止

子どもの遊びや学びの場となる施設を中心に空間放射線量の測定を実施し、状況に応じて低減措置を講じました。また、区立小中学校の屋外プール水と区民センター屋外プール水の放射性物質検査を実施し、その結果を公表しました。結果はすべて検出下限値未満でした。

▼ 放射能測定器



### 1-1-4 身近な生活環境の保全

騒音については、「面的評価調査<sup>4</sup>」と「要請限度調査<sup>5</sup>」を行っています。

平成24年度の面的評価調査では、全6地点で等価騒音レベル<sup>6</sup>を測定した結果、環境基準を満たした地点は昼間の測定で3地点、夜間では0地点でした。一方、要請限度調査では、面的調査とは別の全6地点で等価騒音レベルを測定した結果、1地点を除く5地点では、昼間、夜間ともに要請限度の範囲内でした。

<面的評価調査における6地点の等価騒音レベル>

(単位: dB)

	玉川通り	目黒通り	山手通り	駒沢通り	環七通り	淡島通り	環境基準
昼間	74	71	69	70	72	66	70以下
夜間	74	68	67	68	70	66	65以下

## 1-2 みどりあふれるまちで暮らす

(本編P.21~26)

### 【平成24年度の成果】

- 区内のみどりに関して、公園・ひろば等の面積は、平成22年度と比較し1.04ha増加し、活動を行う登録団体数も6団体増加しました。また、屋上や壁面緑化などのみどりのまちなみ助成面積も増加しました。ただし、保存樹木、保存樹林、保存生垣の指定件数は、新規指定を休止したため減少しました。
- 生き物に関しては、いきもの発見隊実施回数及び参加人数、いきもの气象台情報提供数は増加したものの、野鳥の年間確認種数は52種から41種へと減少しました。

<sup>3</sup> PM2.5：大気汚染物質のひとつで、大気中に漂う粒径 2.5 マイクロメートル（1 マイクロメートルは 0.001 ミリメートル）以下の小さな粒子のことです。粒径が非常に小さいため（髪の毛の太さの 30 分の一程度）、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸系や循環器系への影響が懸念されています。環境基準は 1 年平均値が 15 μg/m<sup>3</sup> 以下であり、かつ、1 日平均値が 35 μg/m<sup>3</sup> 以下。

<sup>4</sup> 面的評価調査：一定の地域ごとに当該地域内のすべての住居等のうち、環境基準を超過する戸数及び超過する割合を把握することにより評価する「面的」な評価方法による調査。

<sup>5</sup> 要請限度調査：騒音規制法及び振動規制法に基づく自動車騒音に係る要請限度値を測定する調査。要請限度値とは、生活環境が著しく損なわれると認められる値。

<sup>6</sup> 等価騒音レベル：時間とともに変動する騒音（非定常音）について、一定期間の平均的な騒音の程度を表す指標のひとつ。単位はデシベル（dB）。騒音に係る環境基準は、等価騒音レベルで評価します。

## <指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	平成24年度末 実績値	平成33年度 数値目標 (目指す方向)	評価
みどりの量						
緑被率※1		15	17.1%	—	20% (平成27年度)	—
公園・ひろばの面積		22	49.01ha	50.05ha	52ha	😊
みどりの質						
公園等で活動を行う登録団 体数※2		22	91団体	97団体	100団体	😊
指標在来生物種の分布率		22	37%	37%	50%	😊
みどりのまちなみ助成緑化面積・距離（累計値）						
接道		22	9,581.12m	9,942.46m	増加	😊
屋上		22	3,726.55m <sup>2</sup>	4,350.12m <sup>2</sup>		
壁面		22	414.67m <sup>2</sup>	449.07m <sup>2</sup>		
いきもの气象台情報提供数		22	1,695件	1,852件	増加	😊
いきもの発見隊実施回数 ／参加人数		22	2回/134人	2回/56人	継続	😊
野鳥の年間確認種数		22	52種	41種	維持	😞

※1 緑被率：一定地域の中で上空から見て芝や樹冠など緑で地上が覆われた面積が占める割合。水面や広場を含まない純粋な植物の緑が対象。

※2 公園活動登録団体とグリーンクラブ

### 1-2-1 街なかのみどりの保全

住宅地のみどりの保全を図るため、大きな樹木、樹林や生け垣を保存対象に指定し、維持管理費用の一部を助成しています。なお、平成24年度より、新規指定を休止としたため、総件数は665件から653件に減少しました。

#### <保存樹木等の指定状況>

種別	指定対象	累計指定件数
保存樹木	幹周りが80cm以上又は高さが1.5m以上ある樹木	560本
保存生垣	高さが0.9m以上で長さが2.0m以上ある生け垣	67件
保存樹林	300m <sup>2</sup> 以上の樹林地	26件

### 1-2-2 身近な場所にみどりを育てる

区のみどりは、民有地の占める割合が大きくなっています。区では、住宅地のみどりを増やすため、「みどりのまちなみ助成」を実施しています。平成24年度は、176.76m<sup>2</sup>の屋上緑化に助成するなど、緑化面積は毎年増加しています。

▼ 屋上緑化



### 1-2-3 都市の生物多様性の確保

平成24年度には、約1,100世帯が身近な自然情報を区に提供する「自然通信員」に参加し、生き物情報を発信する「めぐろいきもの气象台」に1,852件の報告が寄せられました。区民参加による生き物調査の一つである「いきもの発見隊」は、5月に目黒川、11月に駒場野公園で開催し、延べ56人の参加がありました。目黒川での開催時には、ウナギなど13種のいきものを発見できました。

▼ マルタウガイ



【平成24年度の成果】

- ・ スーパーズの活動団体数は、32団体と平成22年度と比較し増減はありませんでした。
- ・ 違法屋外広告物除去数は、97,567枚となり、平成22年度と比較し33,865枚増加しました。
- ・ 区内文化財めぐり開催回数と参加者数は、それぞれ若干減少したものの継続的に開催しました。

<指標の評価>

☺: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    ☹: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目 [ 取組指標 ]	基準年度	基準年度末時点実績値	平成24年度末実績値	平成33年度数値目標 (目指す方向)	評価
スーパーズの活動団体数	22	32団体	32団体	増加	☹
違法屋外広告物除去数	22	63,702枚	97,567枚	減少	☹
区内文化財めぐり開催回数 / 参加者数	22	7回 / 246人	6回 / 163人	継続	☺

1-3-1 きれいで住み心地よいまちづくり

平成24年度の中目黒スーパーズの活動実績として、1,108回、延べ12,486人が清掃活動に参加しました。

また、ポイ捨て防止についてのマナー向上のため、啓発プレート及び路上シールを配布するとともに、ポイ捨て禁止キャンペーンの実施による普及・啓発活動を行いました。

さらに、路上喫煙禁止区域における啓発、路上シート185枚及び立看板28枚の設置、指定喫煙所の環境改善を行いました。

▼ スーパーズ活動



▼ 啓発プレート・路上シート



1-3-2 街並み景観の向上・歴史的文化的資源の活用

景観上良好な街並みを保全・形成していくため、「目黒区景観計画」に基づく建築物等の届出を受理し、事前協議等を行うことで、良好な景観誘導を行いました。

また、電線類の地中化、違法屋外広告物の指導・取締、地域特性に応じた地区計画の策定なども継続的に実施しています。

さらに、区内に残る文化財を守り後世に伝えていくため、調査や保護を行い、文化財マップ等の作成と普及活動を行っています。平成24年度末現在、58か所の遺跡が埋蔵文化財包蔵地として登録されています。

▼ 文化財めぐり



<sup>7</sup> スーパーズ：ボランティアによる清掃活動団体のことで、現在、中目黒スーパーズは中目黒駅周辺、権之助・大鳥スーパーズは目黒駅周辺で活動しています。



# 基本目標2 ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ

## 2-1 ものを大切に作る地域社会をめざす

(本編P.30~36)

### 【平成24年度の成果】

- ・ ごみ量は、54,688 tであり、平成22年度と比較して208 t増加しました。
- ・ リサイクル率は、高い水準(23区の中でトップ水準)を維持しているものの0.2%減少しました。資源回収量も32 t減少しました。
- ・ マイバッグ持参率は、1.8%増加しました。

#### <指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目	〔環境指標 取組指標〕	基準 年度	基準年度末 時点実績値	平成24年度末 実績値	平成33年度 数値目標 (目指す方向)	評価
ごみ量		22	54,480t	54,688t	42,163t	😞
リサイクル率		22	27.9%	27.7%	平成28年までに40%	😞
資源回収量		22	21,030t	20,998t	増加	😞
区民1人・1日当りのごみ量		22	570g	567g	減少	😊
区民1人・1日当りの資源量		22	220g	218g	増加	😞
マイバッグ持参率		22	69.3%	71.1%	増加	😊

### 2-1-1 ごみの発生抑制

3R推進キャンペーンとして、ごみゼロの日にちなんで、5月30日からの1ヶ月にわたり、「ごみと資源の分別徹底キャンペーン」としてパネル展を実施しました。さらに、10月には、「簡易包装・スマートショッピングキャンペーン」としてリフォームファッション&オンリーワンバッグコンテストのパネル展を実施しました。

▼ 環境月間パネル展

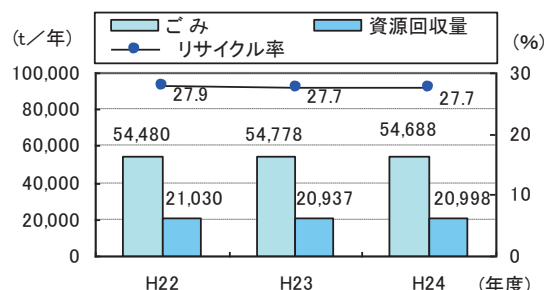


### 2-1-2 円滑な資源循環

平成20年10月から区内全域で、プラスチック製容器包装等の分別回収事業やサーマルリサイクル<sup>8</sup>のプラスチック混合可燃ごみ収集を行ったことにより、燃やさないごみが大幅に減少し、資源は増加しました。

一方、資源回収量とリサイクル率については、ほぼ変動がありません。平成24年度の区民1人・1日当たりのごみ量及び資源回収量は、それぞれ567g、218gでした。

▼ ごみ量・資源回収量・リサイクル率の推移



▼ 環境学習の様子(小学校)



### 2-1-3 ごみの適正処理の推進

区内の保育園や小学校等26箇所に出張し、パネルや紙芝居等を活用した環境学習を実施しました。

<sup>8</sup> サーマルリサイクル：廃棄物から熱エネルギーを回収すること。

【平成24年度の成果】

- ・ 温室効果ガス排出量は、1,087千 t-CO<sub>2</sub>eq であり、平成16年度と比較し72千 t-CO<sub>2</sub>eq 減少しました。
- ・ 区民の再生可能エネルギーへの関心は高く、太陽光発電システムの助成件数(累計)は、着実に増加しています。
- ・ 区内街路灯のLED設置数(累計)も、毎年度順調に増加しています。

<指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	平成24年度末 実績値	平成33年度 数値目標 (目指す方向)	評価
温室効果ガス排出量(二酸化炭素) <sup>※1</sup>		16	1,159 千 t-CO <sub>2</sub> eq <sup>※2</sup>	1,087 千 t-CO <sub>2</sub> eq (平成22年度 実績値)	1,101 千 t-CO <sub>2</sub> eq <sup>※3</sup> (平成24年度 目標値)	😊
太陽光発電システムの助成件数 (累計値) <sup>※4</sup>		22	95件	301件	増加	😊
区内街路灯のLED 設置数(累計値)		22	632基	1,989基	増加	😊
庁用車の低公害車導入台数		22	1台	1台	増加	😊
保水性舗装・遮熱性舗装の整備面積						
保水性舗装		22	276m <sup>2</sup>	整備なし	増加	😞
遮熱性舗装		22	1,176m <sup>2</sup>	整備なし	増加	

※1 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」では、京都議定書及び地球温暖化対策推進法の対象である6種類のガスのうち95%を占める「二酸化炭素」を対象としています。

※2 CO<sub>2</sub>eq とは“CO<sub>2</sub>equivalent”の略であり、エネルギー使用量を二酸化炭素の排出係数を用いてCO<sub>2</sub>相当量に換算した値。

※3 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」の計画期間が平成24年度までであることから、今後の国のエネルギー政策や地球温暖化対策の動向を見据えながら、同計画の改定に合わせて目標値の見直しを行います。また、平成22年度の数値が現在最新です。(出典 オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」特別区の温室効果ガス排出量(1990~2010年度)平成25年3月発行)

※4 住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費の助成額を、太陽光発電システムの助成上限額で換算した件数です。

2-2-1 低炭素ライフスタイルの普及

エコドライブの普及を図るため、区内教習所と東京都の協力を得て、運転教習会を行っています。平成24年度は7月3日・7月4日に開催し、8人の参加がありました。

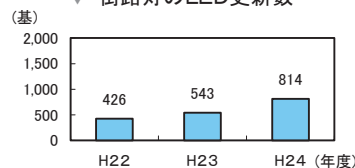
▼ エコドライブ教習会



2-2-2 事業活動の低炭素化

平成24年度は、区内の小中学校30校で134台の冷暖房機を高効率ガス空調設備に入替えました。また、交換時期に合わせて、LEDの街路灯を814基設置し、合計で1,989基になりました。

▼ 街路灯のLED更新数



2-2-3 ヒートアイランド現象の緩和

平成24年度は、八雲中央図書館ほかエコプラザでも打ち水大作戦としてイベントを実施しました。

▼ 打ち水の様子



# 基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり

## 3-1 人を育てて行動を促す

(本編P.42~47)

### 【平成24年度の成果】

- ・ 環境推進員養成講座を開催し、平成24年度の受講生21人のうち12人が修了生となり、着実に数値目標に向けて増加しています。
- ・ 普及版めぐろグリーンアクションプログラムの参加件数、修了件数は、ともに増加しました。一方、めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）の認定件数は1件で、中間報告件数は15件、更新認定件数はありませんでした。
- ・ 区ホームページのアクセス数は、平成23年度と比べて減少しました。平成23年度は、震災後の情報収集により、多くのアクセスがあったものと思われます。

### <指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	平成24年度末 実績値	平成33年度 数値目標 (目指す方向)	評価
環境推進員養成講座修了者数 (累計値)		22	63人	100人	263人	😊
環境保全活動参加経験率※1		24	5.8%	5.8%	平成24年度実績 +10%	-
環境に関する情報提供の 満足度※2		24	11.0%	11.0%	平成24年度実績 +10%	-
普及版めぐろグリーンアクションプ ログラムの参加件数・修了件数		23	144件/3件	164件/30件	増加	😊
区ホームページ※3（もっと知り たい環境のこと）アクセス数		23	697	502	増加	😞
めぐろグリーンアクションプログラ ム（事業所版）の新規認定件数		22	1件	1件	増加	😊

※1 環境に関するアンケートの問「区で行っている環境保全に関する取組みへの参加経験」に対し、どれかに参加したことがあると答えた人の割合。

※2 環境に関するアンケートの問「環境に関する情報提供の満足度」に対し、満足及びやや満足と答えた人の割合。

※3 <http://www.city.meguro.tokyo.jp/keyword/learn/kankyogakushu/index.html>  
トップページ>キーワードから知る めぐろのこと>学び>もっと知りたい環境のこと

▼ 学校版めぐろグリーンアクションプログラム表彰式

### 3-1-1 環境教育・学習の推進

優れた活動を行った菅刈小学校、烏森小学校、月光原小学校、駒場小学校、緑ヶ丘小学校、宮前小学校の小学校6校、第四中学校、第七中学校、第八中学校の中学校3校、合わせて9校を表彰しました。また、学校訪問しアドバイスを行いました。



### 3-1-2 環境情報の提供

6月の環境月間に、総合庁舎西ロビーで環境パネル展を行いました。エコプラザ情報室の図書・資料等の整備、エコプラザニュースなどの広報誌の充実を図り、エコプラザの利用促進を図りました。様々な機会、媒体を活用して環境情報の発信力を高めていきます。

▼ 環境月間パネル展



### 3-1-3 人材や活動団体の育成

環境推進員養成講座を開催し、環境保全活動のリーダーを育成しました。平成24年度は21人の受講生の中で、12人が修了生となりました。また、環境推進員のステップアップ講座「いきものたちと・ともにくらする・まちづくり」ほか2回を開催し、40人程度が参加しました。



### 3-1-4 事業者の取組みの促進

めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）を推進し、平成24年度は新規の認定が1件、中間報告が15件ありました。

平成24年度は申請はありませんでしたが、製造業、建設業、情報通信業及びものづくりにかかわるソフト産業を主たる事業として営む区内中小企業の国際標準規格ISO9000並びに14000シリーズの取得に対して、費用の一部を助成しています。

▼ 環境推進員養成講座



## 3-2 人のつながりを育てる

(本編P.48~52)

### 【平成24年度の成果】

- 目黒区立エコプラザ登録団体数は、11団体となり、順調に増加しています。
- 地球温暖化対策地域協議会は2回、環境審議会は3回と継続的に開催しています。

#### <指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目 〔環境指標〕 〔取組指標〕	基準年度	基準年度末 時点実績値	平成24年度末 実績値	平成33年度 数値目標 (目指す方向)	評価
目黒区立エコプラザ登録団体数	22	8団体	11団体	38団体 (3団体/年)	😊
地球温暖化対策地域協議会開催回数	22	2回	2回	継続的な開催	😊
環境審議会開催回数	22	4回	3回 (小委員会3回)	継続的な開催	😊

### 3-2-1 地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化

平成24年12月8日にエコライフめぐろ推進協会と共催でエコまつりめぐろ2012を開催しました。参加団体数は33団体、来場者数は2,651人でした。区も『みんなで楽しくエコマナー』というテーマでブースを出展し、啓発を目的としたパネル展示とクイズ、大声コンテストを実施しました。

▼ エコまつりめぐろ2012



### 3-2-2 区民・事業者・区のパートナーシップの構築

協働による環境保全活動の推進に向けて、環境審議회를3回開催し、目黒区環境基本計画の重点プロジェクト、環境学習推進計画などについて検討を行いました。

また、区民や事業者などが参加し、地球温暖化対策について話し合う場となる地球温暖化対策地域協議会を2回開催しました。協議会の中では、地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況の確認、目標に向けた効果的な取組みについて検討を行いました。

▼ めぐろエコの森全景



### 3-2-3 地域を越えた広域的な連携

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策におけるカーボン・オフセット<sup>9</sup>を展望した事業の一つとして、平成22年度に友好都市である宮城県角田市の四方山の一角に創設されました。

平成24年度は、めぐろエコの森に植樹した樹木を生育させるために、生育の支障となる下草等の刈り払いを2回行いました。

<sup>9</sup> カーボン・オフセット：自らの温室効果ガス排出量を認識し、削減努力を行い、どうしても削減できない排出量をほかの場所での排出削減・吸収量等を購入すること又は活動等を実施することにより、その排出量の全部または一部を埋め合わせること。